

2024年

10/5(土)

13:00 ~ 17:00

名護博物館 体験学習室



2023年7月、名護市ではじめてヤンバルクイナが記録されました。北部3村だけでなく、名護市を含む沖縄本島全域でヤンバルクイナがすめる環境を取り戻すために、どんなことが必要なのか考えます。

◀ 自動撮影カメラに写ったヤンバルクイナ
(沖縄県環境部自然保護課 提供)

公開シンポジウム

ヤンバルクイナ おかえり 名護市へ!

ー世界自然遺産をミライへつなぐー

定員 50 名
(事前予約不要)

■ プログラム

13:00

開会

13:10~14:30

基調公演

ヤンバルクイナってどんな鳥？
発見から最新の調査でわかってきたこと

尾崎清明 公益財団法人 山階鳥類研究所 副所長

報告 ①

マングース防除事業について

中田勝士 株式会社 南西環境研究所

14:30~15:00

休憩 マングースバスターズによるデモンストレーション (名護博物館中庭)

15:00~16:00

報告 ②

沖縄県のマングース対策事業について

宮平良成 沖縄県環境部自然保護課 希少種・外来種対策班 班長

報告 ③

世界自然遺産と野生生物保護の取り組みについて

椎野風香 環境省やんばる自然保護官事務所自然保護官

16:00~16:10

休憩

16:10~17:00

パネルディスカッション

ヤンバルクイナのミライを考える

登壇者

講演者・金城道男 (NPO法人 どうぶつたちの病院 沖縄)

岸本和也 (Team Come Back ヤンバルクイナたち)・宮里ひな子 (名護博物館学芸員)

ファシリテーター 渡久地豊 (国指定屋我地鳥獣保護区管理員)

【主催】(公財) 山階鳥類研究所

【共催】名護市教育委員会

【お問い合わせ】



名護博物館
Nago Museum

TEL 0980-54-8875 (学芸係)
〒905-0017 沖縄県名護市大中4-20-50



ホームページ



Instagram